



感謝状

## 緊急地震速報利用者協議会様より感謝状をいただきました

10月9日、緊急地震速報利用者協議会様より、平成23年東北地方太平洋沖地震の被災地支援の取り組みに対し地震被害の軽減および速報の利活用の振興に協力したとして、感謝状と記念品をいただきました。

被災地に対する支援は、群馬大学の片田敏孝教授らの提案があり始まった事業で、弊社は、2011年6月から(株)ANET様の配信により宮城県塩竈市内の小中学校4校に、QCAST®シリーズ受信ユニットS740を無償提供しています。

明星電気はこれからも、様々な防災商品・サービスを通じて、安全・安心な社会の発展に貢献してまいります。

(当社営業担当 : 気象・防災・制御グループ 練木 道夫)

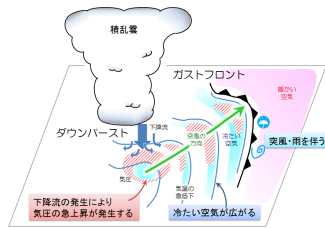


小型気象計POTEKA Sta.

## POTEKA Sta.が高崎市・前橋市の突風現象を観測！

8月11日に、群馬県高崎市から前橋市にかけて突風が発生し、倒木や建物の被害が発生しました。気象庁によると、この突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性が高いと報告されています。

気象学の専門家によると、積乱雲に伴う竜巻やダウンバーストのような短時間の局所的な現象の実態を観測することは、不可能と言われていました。しかし、当社開発の小型気象計POTEKA Sta. を利用した細かい地域気象観測網により、突風の拡がりに対応して生じる地表付近での気温・気圧等の変化をこれまでにない細かい時間・空間分解能で捉えることができました。今後、得られた観測データをもとに突風のメカニズム解明や観測データの活用方法について群馬大学や四ツ葉学園などと共同研究を行います。



ダウンバースト、ガストフロントの仕組みイメージ図

※ダウンバースト: 積乱雲から吹き下ろす激しい下降気流

※ガストフロント: 地表で水平に広がった冷たい空気が暖かい空気と衝突して発生する小規模な前線

(当社営業担当 グローバル戦略グループ 前田 亮太)



ゴミの汚染計測イメージ図

## 「高感度広域ガンマ線望遠鏡」がJST先端計測分析技術・機器開発プログラムに採択されました

「高感度広域ガンマ線望遠鏡」の開発が、JST先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測領域「実用化タイプ」)の平成25年度の新規課題として採択されました。高感度広域ガンマ線望遠鏡は、放射線量率の迅速かつ高信頼度・高精度・高感度な撮像計測を可能とし、大きな感受面積をもつ放射線モニター装置です。

この開発により、製品・土壌等に含まれるセシウム起源のガンマ線を離れた場所から大面積で検出できるようになり、被災地域の復旧・復興に貢献することができます。

本開発は、東京大学宇宙線研究所・佐々木真人准教授の発案による、「高感度広域ガンマ線望遠鏡」を基にして、製品化試作の完成を目指します。

※OLEEV(仮称): 高感度広域ガンマ線望遠鏡

※関連URL

JST先端計測分析技術・機器開発プログラム <http://www.jst.go.jp/sentan/>



トラックの積荷のドライブスルー放射線検査イメージ図

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。